

地域と繋がり、ランドマークとなる「まちかど」空間 オフィスビル「八重洲通フィルテラス」竣工のお知らせ

旧ニッケ東京ビル跡地（東京都中央区八丁堀1丁目）にて建設を進めていた「八重洲通フィルテラス」が、2025年1月31日に竣工しました。住友商事株式会社（本社：東京都千代田区）との共同事業としてスタートし、2023年の着工から約2年を経て、地上12階建、基準階面積約178坪のオフィスビルが誕生しました。充実した設備スペックに加え、環境に配慮し、ワーカーが快適かつ安心して働けるオフィス空間を提供します。

また、公共的屋外空間を敷地内に設けることで、八重洲通り沿いの緑や公園など街並みと調和のとれた「まちかど」空間を創出します。外観は目の前にある久安橋のアーチ曲線をデザインに取り入れ、日本橋と八丁堀をつなぐ地域のランドマークとなるシンボリックなデザインとなっています。高さ7mのエントランスホールは、世界三大銘木であるマホガニーを使用した木ルーバーが織物のような陰影を生み出しながら壁から天井へと連続し、天然木の温かみのある空間が来館者を迎え入れます。

名称である「八重洲通フィルテラス」の「フィル」には、フランス語で「糸」、英語で「満たされる」という意味があります。ニッケの祖業である繊維事業と、地域の街並みが調和し、人々の心が満たされる空間というイメージから名づけられました。



- 省エネへの取り組み

本計画においては、脱炭素社会の実現に向け、当社開発物件では初となるZEB Ready認証とCASBEE Sランク認証を取得しました。事務室における人感センサーの設置や適正な照明照度設定、高効率室外機の導入等により高い環境性能を実現し、標準的な建物と比べ年間エネルギー消費量を50%以上削減しました。

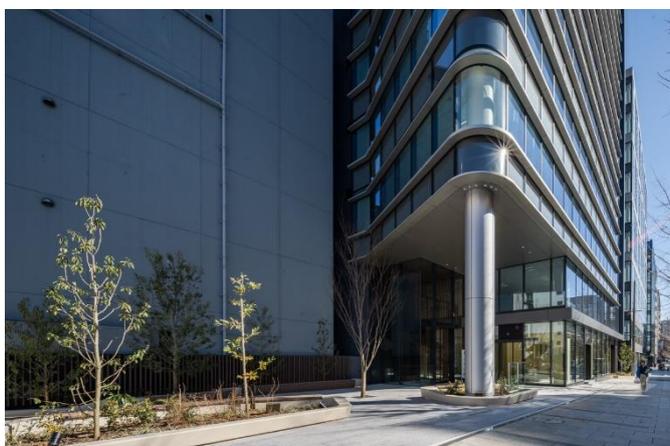
CASBEE®



- 豊かな共用部分について

「八重洲通フィルテラス」は、中央区の地区計画に基づく公共的屋外空間や、屋上ワークスペース等、豊かな共用空間をオフィスワーカーの方々に提供します

① 公共的屋外空間イメージ



「八重洲通フィルテラス」の八重洲通り沿い南西角部分には、公共的屋外空間を配置しました。シンボルツリーの育成、ベンチの配置をはじめ、ピロティを通じた1階区画との一体的なデザインとすることで、人々が緑の近くで憩える賑わい空間を形成しています。

② 屋上ワークテラス



屋上にはテナントワーカー限定のテラススペースを整備しました。眺望のよいコーナー部の緑に囲まれた空間は、懇親の場やランチ休憩等、リフレッシュスペースとしてだけでなく、カジュアルな打合せ等、様々な用途での利用が可能です。

【物件概要】

所在地	東京都中央区八丁堀1丁目2番8
敷地面積	883.55㎡
規模	地上12階・鉄骨造・建物高さ約50m
用途	オフィス（2～12階）、店舗（1階）、自動車車庫（地下1階）
設計	鹿島建設株式会社
施工	鹿島建設株式会社
事業主	日本毛織株式会社、住友商事株式会社

【地図】



「本件に関する問い合わせ先」
ニッケ 人とみらい開発事業本部
不動産開発事業部
事業部長 中野 浩史
TEL : 078-333-8066